

# 地域共生社会に向けて

## ～鎌倉第一号の『共生型デイサービス』になりました

社会福祉法人きしろ社会事業会 鎌倉プライエムきしろ 大垣 佑輔

私たち鎌倉プライエムきしろは令和3年11月から、鎌倉初となる障害者の受け入れを行う共生型デイサービス（生活介護事業所）の指定を受けました。11月に1名、12月に2名の方が利用を開始しています。共生型になるまでの経緯や、課題点等を紹介させていただきます。（同法人の二階堂デイサービスセンターも合わせて令和3年11月から共生型の指定を受けました）。

また、令和4年8月頃には鎌倉市大船の常楽寺交差点近くに3つ目となる共生型デイサービスのオープンを予定しています。

### 1. 共生型になった経緯

きしろ社会事業会は、SDGsの考え方にに基づき、地域共生社会の実現に向けた取組に力を入れています。その取組みの1つとして共生型デイサービスを開始しました。

共生型デイサービスをきっかけとして、高齢者と障害者がお互いのことを思いやり、支え合うことができる地域共生社会の実現に繋げていきたいと考えています。

### 2. 地域のニーズ

共生型デイサービスを開始するに際し、鎌倉市基幹相談支援センター、鎌倉市、県立鎌倉養護学校、市内の障害事業者等とディスカッションする中で、鎌倉の地域特性、同居家族の高齢化、障害者が利用する社会資源の不足により地域ニーズの高さを実感しました。

### 3. 利用者と家族からのニーズ

共生型デイサービスは、祝日の営業、送迎が『door-to-door』であること、入浴設備があることなどから利用者や家族のニーズがあります。

親子（親が介護保険、子供が障害）で利用できるため独りでは不安な方も利用可能な点や、介護認定を受けていない方でも利用できることから、現在利用している障害サービスと並行して利用できる等のメリットがあります。

### 4. 共生型デイサービスの開設に向けて

共生型デイサービスの開設に向けて一番大きな課題は、職員が障害者を受け入れることへの不安感でした。こうした不安感を払拭するため、鎌倉市基幹相談支援センター職員等に研修を開催していただき障害者の特性や介護をする上でのポイントについて説明を受けました。

また、サービス管理責任者研修に職員が受講したことで『ストレングス』の考え等を学べたことで不安が少なくなりました。他にコロナ禍でありましたが、障害者施設の多大なるご協力で、施設見学をさせていただきました。施設見学により『クールダウン室』や『一人の空間作り』を事前に学べたことで、障害利用者が安心して過ごせる空間を作れました。指定後は介護と障害、そして高齢者と若者の世代間交流に繋がり、良い相乗効果になっています。

### 5. 今後の課題

法の整備が課題の一つとなっています。整備というのは介護保険においては、デイサービスの1日体験利用は禁止となっていますが、障害者総合支援法では1日体験を推進するように指導があり、また身体拘束（車いすの安全ベルト）に対する考え方も違いがあります。共生型では介護保険法と障害者総合支援法の二つの法律を元に支援するため、双方の法律が共生型に向けて整備されることを期待しています。

鎌倉プライエムきしろが  
共生型デイサービス  
へR3年11月より変化しました

ずっとじぶんの道をゆく。

社会福祉法人きしろ社会事業会

鎌倉プライエムきしろ  
デイサービス（共生型）

65歳以上の方  
介護保険  
サービス  
高齢者

障害をお持ちの方  
障害福祉  
サービス  
障害者

【いっしょに利用】

感染対策のもと感染状況を確認しながら  
順次施設見学をしています

TEL:0467-48-2101